

週報

令和 6 年 1 月 12 日

2023~2024年度 No.20

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆国歌斉唱「君が代」

☆ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「職業奉仕月間卓話」

職業奉仕委員会 委員長 坂井 成光君

☆点 鐘

現在会員					27名					前々回の欠席者(12/15)					2名	
本 日	出席	22名		欠席	1名		免除(a)欠席	2名		出席率	95.65%					
							免除(b)欠席	2名								
前々回	出席	15名		MU	5名		免除(a)MU	2名		修正出席率	91.30%					
							免除(b)MU	3名								
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.21									
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39			

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

誕 生 祝

中村 栄治君(昭和31年12月27日生)

昨年の12月27日で、67歳になりました。

ロータリーに入会して、早いもので今年の5月で、丸25年になります。

昨年は、年末から年始にかけて五島を離れ長崎で過ごし、大晦日の夜中12時に諏訪神社で12年に1回奉納される龍踊(じゃおどり)を見に行きました。

夜11時に行ったのですが、人出が多くて本殿まで辿り着くことができませんでした。あとから来た人たちは、階段前で待機となっていました。

元日も人が多いなか諏訪神社に参拝し、財務相・福岡財務支局から法人企業統計調査・四半期別調査票が送られてこないよう、ゴルフのハンディキャップが20を超えないよう、更に今年は心臓の冠動脈に3年連続でステントが入らないように祈ってきました。

今年は、ゴルフ上達と健康に注意していきたいと思っています。

本日は誕生祝い、ありがとうございました。



会長の時間

会長 平村 和弘君

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。それでは会長の時間を始めさせていただきます。

五島市においては、例年よりも暖かく穏やかな新年を迎えることが出来たように感じていました。一日の朝、私は実業団ニューイヤーマーチ等を見ながらのんびりと過ごしていました。夕方早くには実家に赴き、ささやかな宴会を楽しんでいたところ、テレビニュースによって能登地方で最大震度7の大きな地震が発生したことを知りました。お

酒の回った頭では、能登地方の方々は正月早々大変だな・本当に気の毒だなとは思いましたが、それ以上考えることはありませんでした。

2日も朝から箱根駅伝を観戦し、お昼前に初詣に向かいました。午後2時から年末に約束していた知人が我が家に訪れ、当然のようにお酒を飲み7時半過ぎには、お店に出ていくという自堕落な一日・二日でした。

3日になって能登半島地震によって大きな被害が出ていること、また羽田空港で日航機と海保機による衝突事故が2日夕方に発生したことを知りました。改めまして犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた皆様方にお見舞い申し上げます、一日も早い復旧・復興を願うばかりです。出来ることがあれば、協力して行きたいと思っております。

話は変わりますが、私の会長年度も残り半分の期間となりました。まだ半分あります。4月には福江RC創立60周年に関する行事があります。まだまだ会員の皆様にはお願い事ばかりになるかと思いますが、どうぞよろしく願い申し上げます。残りの期間、私自身も頑張ってみようと思っております。

以上で会長の時間を終わります。

幹 事 報 告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

・第7回定例理事会

本日の例会終了後開催しますので、理事役員の方は、御出席をお願いします。

・クラブ協議会について

次週1月19日(金)第4回クラブ協議会

次々週1月26日(金)第5回クラブ協議会

上半期の報告と下半期の計画の発表、各理事・委員長は準備をお願いします。当日欠席される場合は、代理の方による発表をお願いします。

・谷川和啓さんが療養の為に退会したいと本人からの希望の申し出があったため、持ち回り理事会を開催し、令和5年12月26日付で受理されました。

【地区関係】

・職業奉仕月間リソースのご案内が届いています。

・D2740R財団委員会 補助金管理セミナーのご案内が届いています。

【地域関係】

- 第40回愛のチャリティ歌の祭典への参加のお礼状が、福江商工会議所女性会会長松岡真理さんより届いています。

【その他】

- 財団室NEWSより、2024年1月号が届いています。
- バキオだより100号が届いています。
- 福江中央RCより、週報第11, 12, 13, 14, 15, 16号が届いています。
- 2024年1月のロータリーレートは1ドル141円です。

委員会報告

出席報告

- ◆ 1月12日（欠席者メイクアップ）
才津 喜彦君 橋本 武敏君
- ◆ 1月12日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 1月12日（免除(b)欠席者）
清瀧 誠司君 佐々野邦久君
- ◆ 1月12日欠席者
神之浦文彦君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ 坂井 成光君 本日の部内卓話、宜しく願います。12月に行われたスマイル会のゴルフで、なぜか2位から1位になりました。ありがとうございます。
- ◇ 中村 栄治君 お誕生日祝いありがとうございました。
- ◇ 吉田 泰之君 新年明けましておめでとうございます。
- ◇ 山下 実君 ”
- ◇ 柳田 靖夫君 今年もスマイル会、頑張りましょう。
- ◇ 平村 和弘君 坂井成光君、本日の卓話宜しく願います。
- ◇ 山里 一郎君 ”

- ◇ 戸田 博之君 ”
- ◇ 張本 民雄君 ”
- ◇ 片山 雅文君 ”
- ◇ 三村 剛孝君 ”
- ◇ 寺澤 信義君 ”
- ◇ 有川 真史君 ”
- ◇ 松岡 孝博君 佐々野邦久君、中村栄治君、お誕生日おめでとうございます。
- ◇ 小畑 和男君 ”
- ◇ 山下 克己君 ”
- ◇ 西上裕一郎君 ”
- ◇ 藤川 博士君 ”
- ◇ 山口 裕之君 ”
- ◇ 宮脇 秀至君 ”

合計 22,000円

通算合計 377,000円

部内卓話

「職業奉仕月間卓話」

職業奉仕委員会

委員長 坂井 成光君



本日は、職業奉仕の歴史と変遷について、お話しいたします。

職業奉仕の歴史は、ロータリークラブの歴史と重なる部分が多いですが、これを、創立期・展開期・混乱の成長期・四つのテスト誕生以降直近に分けてお話しします。

〈創立期〉

皆さんもご存じの通り、ロータリークラブは、1905年シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが、「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアをもとにして、3人の友人と語り合って発足させたとされています。

当初、会員を一業種一人に制限し、これがロータリーの職業分類制度の始まりと言われてます。

この職業分類制度によって、会員は2つの責務を負うことになります。

一つ目は、「クラブに対しては、自己の職業の代表者という責務」、もうひとつは、「ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務」です。

この2つの責務が、職業奉仕の基礎となっています。

〈展開期〉

創立時は、「親睦」団体だったのですが、やがて「奉仕」も行うクラブに変わっていきます。ロータリーの発足後しばらくして、ロータリーの目的や存在理由について疑問を持つ人が出始めました。

当時の商取引は、「騙すより騙された方が悪い」「法さえ犯さなければ何をやっても良い」というような荒廃した、職業モラルも無い状態でした。

そんな中でも、モラルを維持して発展している商店や会社があり、その共通点が「サービス」ということでした。

最初の全米ロータリー大会が、1910年にシカゴで開催されたとき、アーサー・フレデリック・ジェルトンが語った中に、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の言葉があり、また、ベンジャミン・フランクリン・コリンズが語った「無私の奉仕」も賛同され、のちに「超我の奉仕」に修正され、ロータリーの二大標語になりました。

〈混乱の成長期〉

彼らの努力により、奉仕の理想としてロータリー活動の基本は「自分の職業を通しての奉仕である」という「ロータリーの根本原理」が定着しました。

職業奉仕は、ロータリアン一人一人が例会に出席して、他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、日常生活では自分の職業に真剣に取り組む、社員はもとより仕入先や顧客など周囲の人たちのモラルを向上させて業界の手本となり、その業界のモラルを向上させていくことです。また、金銭的奉仕や身体的奉仕の実践をも、積極的にすべきであるという身体障害児救済事業に関する事業の奨励されるようにもなりました。

これらのことをふまえて、1923年に「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」後に、「社会奉仕に関するロータリーの方針」に名称変更し、ロータリーの奉仕理念を表す唯一の文書で、個人にもクラブにも奉仕の理念に基づく実践が求められていることを述べたうえで、ロータリーの奉仕活動の実践は個人奉仕が原則であって、クラ

ブが行う奉仕活動は会員の訓練のための例示に過ぎないことが明記されています。

〈四大奉仕と四つのテスト〉

ロータリーの四大奉仕、すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の考え方は「一般奉仕概念」と呼ばれていたものから、「職業奉仕」という呼び名が正式に与えられました。ロータリーの哲学を端的に表現し、職業奉仕の理念の実行に役立つものとして、皆さんもよくご存じの「四つのテスト」があります。世界大恐慌時に考えたもので、育成の指針として会社の従業員が使えるような倫理上の尺度として作られたものです。

ここで、ちょっと横道にそれますが、ロータリークラブ、あるいはロータリアンが理念の実践を通して社会に対する真実の灯となる、四つのテストの言葉の意味を確認したいと思います。

1, 真実かどうか

嘘偽りのない本当のことで、たんなる事実かどうかではなく、物事の原理・原則・根本原理に適してるかどうか！ ということです。

2, みんなに公平か

ロータリアンの 日常生活の すべての言動に適用し、みんなに公正に私的感情をあまり交えずに偏りなく対処してるか！ ということです。

3, 好意と友情を深めるか

自分の考え、意見、行いが、他との好意・友情を一層密にするか という問いかけであり、私的な感情が強く入りすぎないように、戒めているという解釈も出来ると思います。

4, みんなのためになるか どうか

道徳的な基準は、自分が何かを行うときの他への態度の規範ではありますが、それは当然、直接の相手だけでなく、その周辺の人達への配慮も含んでいなければなりません。これが、この言葉「みんなのためになるかどうか」であると考えられます。

〈最後に直近のロータリー〉

1989年、「84年間の伝統を変える」声明が採択されました。それは、女性の入会に道が開けました。「規定審議会報告で、ロータリークラブ青年

男子によって構成される」というクラブ定款の条項のうち、「男子」の文字を削除しました。多様性のあるクラブ作りへ、女性会員を増やそうという試みです。

最後に、ロータリーを1本の樹にたとえて述べさせていただきます。

2008年に行ったR I国際協議会で「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」という講演で示したもので、基本理念である「奉仕の理念」を実践する手段が、商業奉仕であることをわかりやすく説明したものです。

みなさん、一本の大きい木を想像してください。

「根」にあたるところが、「ロータリーの目的、クラブ奉仕（例会出席等）」であり、そこから、職業奉仕である「幹」に水と栄養を送ります。果実として、「社会奉仕」「国際奉仕」等が実ります。

まさに、「根」と「幹」、ロータリーの「根幹」が「奉仕の理想」と「職業奉仕」で構成されているのです。枝が伸びて実った「果実」は、青少年奉仕・社会奉仕・国際奉仕・米山奨学金・そして、ロータリー財団に基づく奉仕となっています。

つまり、「社会奉仕」や「国際奉仕」等を実践していくために、職業奉仕たる「幹」が折れたりしないように継続性をもって、自分の事業を実践、発展させていかなければなりません。

ロータリーで学び、奉仕を通して自分自身や、自身の事業が成長する先には何があるのか？

人間の価値は金や名誉ではなく、人のために何をしてきたか？

企業の価値は株価やブランドではなく、世の中のために何をしてきたか？ではないでしょうか？

以上、ご清聴ありがとうございました。